



《地域医療連携》 脳卒中地域連携パス使用患者数

＜項目解説＞

脳卒中の診療においては、施設内外での診療体制が治療成績に影響を及ぼすことが広く知られています。地域連携パス（地域連携診療計画書）とは、それぞれの役割を担う医療機関が互いに連携を取り合い情報の共有をすることで、医療機関（主治医）が代わっても患者さまが安心して治療を受けることができるための取り組みとなります。一人一人の患者さまに対して、いかに継ぎ目のない医療を、地域一丸となって展開していくことが、大変重要なことです。地域連携パスを活用し、地域医療実践をしているかを示す大切な指標です。

＜当院の実績＞

【平成24年度】	4件
【平成25年度】	3件
【平成26年度】	0件

＜当院の自己点検評価＞

脳卒中（脳梗塞（こうそく）、脳出血、くも膜下出血）は突然に頭が痛くなったり、身体に麻痺が出たりしておこります。

生活習慣病をきちんと治療して脳卒中を予防する事が大切なのは言うまでもない事ですが、万一脳卒中になってしまったときに患者さまご自身又はご家族と医療福祉関係者が一丸となって病気に立ち向い、地域としてこれを支えていくことが必要です。

つまり地域連携パスとは、患者さまの情報を適確かつ効率良く次の関係者に受け渡ししていくシステムあるいはツールであるため、急性期→回復期→自宅への経過をたどる脳卒中患者さまを一人でも多くカバーできるよう努力してまいります。

＜定義＞

脳卒中地域連携パスの使用患者の実数

＜算式＞

実数